



# 個性が輝く まちが輝く

## とうぎやざー

みんな 仲良く 一緒に

2020.10.第23号



### よかひとりレー

栗原チカヨさん(八女市)にインタビューしました！…2~3

☆各男女共同参画推進団体紹介 ……………… 4~5

☆川柳作品表彰・編集後記 ……………… 6



情報誌「とうぎやざー」は、男女ともに個性と能力が十分に発揮できる八女市を願って名付けました。

発行：八女市 人権・同和政策・男女共同参画推進課 ☎0943-23-1314  
こらぼれーと\*(八女市男女共同参画情報誌編集委員会)

\* こらぼれーと（共同）  
情報誌を編集するメンバーのグループ名です。よろしくお願いします。



新型コロナウイルスによる  
人権侵害をなくそう！

正確な情報に基づく、冷静な判断と正しい行動を心がけ、  
新型コロナウイルスの悪影響を断ち切りましょう。

| 簡単に自己紹介をお願いします。

# よかひと リレー



今回は、女性林業従事者として活躍されている

(有) 諸富林産興業矢部工場  
栗原 チカヨさん (48)  
(八女市矢部村)



私は矢部村で生まれ、中学まで過ごし、春日市の高校卒業後、福岡の会社に就職し、その後矢部に戻り結婚し現在に至っています。  
(家族構成：夫・長男・長女・次女・母)

| 職場の紹介をお願いします。

私が勤めている(有)諸富林産興業矢部工場では、植林から伐採、製材まで行っている林業会社です。現在、11名の従業員です。(ちなみに女性は私一人です。笑。)私の会社は、矢部村の特産である杉の日本でも数少ない葉枯らしの新月伐採に取り組んでいます。

行っている伐採は、秋冬期（九月から翌年二月）の新月の日の前日から七日間だけ伐採を行い、四ヶ月から六ヶ月間枝葉をついたまま

| 十二年たちましたが、まだまだ勉強中です。(笑)

| どういった仕事内容ですか？  
主な仕事は、現場で伐採した木材を重機で引き出し、チエンソーで玉切をして、枝打ちを行い、その材をフォワード（運搬機）で10tグラップルの場所まで運び出す作業です。

| なぜ今の職場に就かれたのですか？

現在の仕事に就くまでは、地元の歯科診療所に十年間勤務していました。勤務時間の問題や家族のこともあり、夕方五時で帰れる仕事を探していました。結果、実家の父が今の社長と仲が良く付き合いいがありましたので相談をしてもらい、今の仕事に転職しました。

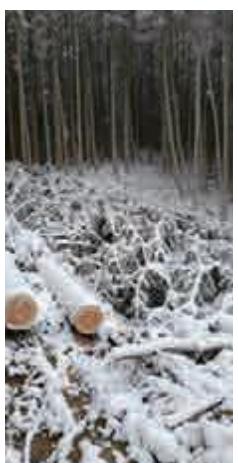
| なぜ林業の仕事を選ばれたのですか？

子どもの頃から、実家の父が林業の仕事をやっていたのを見て手伝っていたので、地元の職場で、「林業をどれだけ女性でやれるか」挑戦してみたかったからです。

| 現在の仕事は、色々な資格が必要だと思いますが？

林内で自然乾燥、その後枝を落として搬出を行う伐採方法です。新月伐採の木、自然乾燥の木は香りもよく、ピンク色にキラキラ輝いています。

| この仕事に就かれ何年たちますか？



全くの未経験者だったので、知識を得るために、「緑の雇用」事業で、三年間の講習及び研修を経て、現在に至っています。そのなかで林業関係に必要な走行集材機械免許、機械集材装置免許他六種類の免許を取得しました。

——この仕事をして嬉しかったこと、また難しいことは何ですか？

嬉しかったことは、近所の小学生から「木の香りがするけど、何の仕事をしているの？」と聞かれたこと、同僚から「機械の操作が上手になつた！」「仕事をまかせがられるようになった」と言われたことです。また、エンジンで大きい材の玉切りがうまく出来たり、荒廃していた森林がきれいになった時の達成感は大きいです。

難しいことは、それぞれの現場で木の性質が違うので同僚に相談しながら考えながら頑張っています。日頃から、現場での作業などで、安全面には特に気をつけて行っています。

——林業は男性が就く仕事というイメージがありますが、女性だと大変ではありませんか？

機械化が進んでおり、女性でも十分活躍できる仕事です。

——職場の雰囲気はどうですか？

私一人が女性ですが、男女関係なく平等に楽しく仕事をしていました。

——男女共同参画についてひとつ

実家の父も一年前に林業を辞め、今は農業をしています。母がパートで仕事に行くと帰り時間にあわ

せ、夕食の準備をしてくれます。私もまた、料理をする時は子どもたちと一緒に作ることも心掛けています。そうしたことも男女共同参画のひとつだと思います。最初は言葉を聞いたことがある程度でしたが、色々な会議・研修会等に参加することによって、少しずつではありますが知識を高めることができます。今後は、多くの人に伝えていけたらと思います。



仲間から見た栗原さんは、  
〔男に腕力でかなわない部分は  
技術でカバーしてるし、細かい  
所に目が届きます〕  
とのこと。





## 星野地区

### 男女共同参画推進委員会

星野地区男女共同参画推進委員会は、令和元年度に新たに組織された会になります。それ以前まで星野地区内に「女性の翼」に参加したメンバーを中心に、「なでしこ会」を結成し、男女共同参画推進活動を進めてきましたが、年々会員数が減少し、会の存続自体が困難な状況となつたことから、新たに星野地区内の四つの地域振興会から委員を二名ずつ選出し、「星野地区男女共同参画推進委員会」を発足いたしました。活動については、年一回の講演会を主催し、一人ひとりが性別に関係なく個性と能力を發揮し、いきいきと輝くまちづくり・地域住民、老若男女問わず互いに協力し合いながらより良い地域づくりの実現をめざす。企画していま

ます。

まだ発足したばかりの組織ですので、地域からの委員さんは、まず「男女共同参画」について学ぶことからがスタートになります。一步一步の積み重ねが推進の輪を広げていくものと信じ、これから活動も手探りではありますが本会が地域に根付くよう展開してしていきます。

黒木町男女共同参画地域づくり実行委員会は、活動を始めて十一年、現在十名で活動しています。活動のきっかけは、がれき置き場になつていた町の遊休地での花作りでした。試行錯誤を繰り返し、今ではサツキ、オタフクナンテン、アガパンサスが咲きほこる公園となりました。年に数回草取りをしますが、地域自治会女性部の協力もいただき、「地域共同参画」のシンボルとなっています。



年末には、老若男女問わず参加できる事業として「しめ縄作り」を行いました。また、「みんなの料理教室」として、男性講師を招き、男女協力し合いながら料理を三品作りました。今後も、みんなで楽しく活動に取り組んでいきたいと考えています。

## たちばな 男女まちづくり委員会

汁」を提供しています。ふじ棚を散策して歩き疲れた観光客の皆さん、が、郷土料理とゆつたりした空間を楽しんで帰られます。最近は若い人や外国の方も日立つようになりました。今年は新型コロナウィルス感染症の影響で祭りが中止となり、残念に思っています。

毎年秋には「講演会」を開催しています。男女が共同で明るい地域づくりに参加することを願い、講演の内容を検討しています。以上のように、私たちは「なかた花公園」「さくら茶屋」「講演会」を三本の柱として活動しています。例年どおりに活動できる日が一日も早く訪れるよう願っています。

令和元年度は、男女共同参画の意識高揚を図るため「視察研修」を行いました。福岡県男女共同参画センターあすばるにてセンター長より施設概要・事業について説明を受け、その後農産物直売所「ふどう畑」を訪れ、代表取締役の新開玉子さんより、設立から現在に至るまでの女性の頑張りについて話を聞きました。

たかばな男女まちづくり委員会は「男女が輝くまちづくりの実現」を目指すため、活動を行っています。

## 男女が輝く ネットワークやめ

平成十六年に制定された「八女市男女共同参画のまちづくり条例」を暮らしの中に生かそう!をテーマに、七つの団体（国際ソロプロチミストやめ・八女商工会議所女性会・ハ女市職労女性部・解放同盟国武支部・JA八女地区女性部・八女母子寡婦福祉会・翼の会）と二十六名の個人会員で構成しています。

市外を対象とした「先進地視察」、市内の各所を巡る「ネットウォーキング」、八女市議会議員との「意見交換会」、年二回の料理教室「男子厨房に入ろう」などの活動と合わせて、研修会、講演会、懇談会などを行っています。

現在は、一月の料理教室を最後に活動は休止しています。

児童虐待やDV問題、女性と子どもの貧困問題など女性を取り巻く環境の厳しさはこれからも続くでしょう。ネットワークやめも出席会員の固定化や高齢化で存続が厳しいです。が、若者や女性が活躍できる社会づくりのためにも、子育てが一段落した女性や男性の方々の参加を期待しています。



## 上陽町 男女共同参画推進委員会



「上陽町男女共同参画推進委員会」は、現在、上陽地区の各団体代表者八名と有志四名の計十二名で構成しています。高齢化が進む中、男女が共に助け合いながら「みんなが安心して楽しく暮らせる町」をテーマに活動しています。

主な活動として、毎年一回、講演会を開催しています。昨年度は、十一月十七日に上陽公民館で落語家・粗忽家勘心（そつやかんしん）さんの講演会を開きました。落語を通して男女共同参画を楽しく語つていただき、参加した方たちも「分かりやすく大変面白かった」「男女共同参画の意味がよく分かった」と喜んでいました。

今年度は新型コロナウイルスの影響で開催ができない状況ですが、また楽しい催しを開けるようになつた際には、ぜひご参加ください。

## 矢部地域づくり協議会



矢部地域づくり協議会は、地域コミュニティの充実と地域振興を目的に、市町村合併後の四月に組織しました。住民が主体となつた地域イベントへの協力と助成、青少年育成事業、生涯スポーツ推進、生活環境整備や地域福祉活動等、幅広い活動を行っています。

協議会には村づくり部会があり、そこで男女共同参画に関する活動を担っています。協議会のイベントとしては、例年、八月十四日に矢部村青年団と協力した花火大会を、十月の第三日曜日には矢部村全体での体育祭を開催しています。

写真で、これまでの花火大会や体育祭での「ジャンケン列車」の様子を紹介しています。このように老若男女で楽しく活動できる日が、一日も早く戻ってくることを願っています。

## 八女市男女共同参画 地域づくり実行委員会 (ていく・ぱーと)



福岡県男女共同参画センター「あすばる」から活動のお誘いがあり、公募により集まったメンバーで平成十九年春に始まった「八女市あすばる男女共同参画地域づくり実行委員会」。より親しみやすく、との願いを込めて「いく・ぱーと」と名称を改め男女共同参画の啓発活動を行っています。

絵も内容の文も、全て自作の紙芝居、特に「麦子さんの物語」農家に嫁いで」は、リアルな家族模様を描いており各地で好評いただきました。また、おすすめしたい大型絵本を持って公演依頼に対応しております。

令和二年度  
男女共同参画週間

川柳作品表彰

内閣府の男女共同参画週間に合わせて川柳を募集したところ、たくさんのご応募をいただきました。  
審査の結果、入賞作品が決まりましたのでご紹介します。

最優秀賞

違うこと 認めあつての 絆あり  
坂田 久子さん

優秀賞

ありがとう この一言が 工ネルギー  
石川 幸一さん

優秀賞

男女共同 個性おりなす よか八女市  
中島 大輝さん

入賞

違い越え つなごう手と手 ここころの輪  
柴田 真理さん

入賞

違いこそ 見守る力 地域力  
柴田 真理さん

入賞

あなたの個性 それはあなたの 宝物  
堤 秀夫さん

入賞

光りだす 「違つていいよ」 の後押しで  
N・Dさん

最優秀賞を受賞された坂田久子さん  
から、受賞にあたつてのコメントを  
いただきました。

今回の川柳は、「個性が輝く」という募集テーマに合わせて作りました。金子みづさんの詩に「みんなちがつて、みんなちがつない」とあります。男女に限らず、みんなお互いに違つていて、それぞれの良さがあると思います。お互いの違いを知ることで、自分の良さも、相手の良さも引き出せるのではないかでしょうか。

私は、偶然の縁も含んで、色々な方にお会いし、お話しもする機会に恵まれました。若い方から高齢の方まで幅広い年代、外国の方、障がいのある方など…。みんな、それぞの違いを認め合うことで、心の余裕が生まれるのではないかとも思います。時には、けんかをすることもあるけど、それをくぐり抜けると見えてくるものがあるかもしれません。

今、女性は社会進出が進みました。仕事も家のこともしてくたびれています。男性も長時間の仕事できつい思いをしています。お互いに気がついたことを、小さなことからやつてしまい、支え合つていけばいいと思いま

編集後記

令和二年一月頃  
から全世界に感染  
が広がり始めた新型コロナウイルス

感染症。四月には緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出、県外移動の自粛を余儀なくされました。このような状況下の中でも某企業により実施された「コロナの前と後、生活に関する調査」の結果によると夫婦の家事分担の割合について、緊急事態宣言前は「妻が八割以上」と答えた男性は52.7%、女性は73.0%と、夫婦間で約20ポイントの意識の差がありました。宣言後は、男性は39.5%に減少し、幾分かは家事を分担するようになったと思っているようです。女性も65.3%と宣言前より若干は減少したものの、男性との意識の差は25ポイント以上に広がり、男性が思っているほど女性は「男性の家事分担率の増加」を実感していないようです。

併せて、注目されていたのが掃除や洗濯、料理といった名のある家事以外の、タオルを取り替える、各部屋のゴミ箱のゴミを集めて捨てる、シャンプーなど消耗品の詰替え、交換などの必要な事ですが気がつきにくい「名もなき家事」の存在です。宣言以後、家族全員が常に家庭にいる状態が続いたことで、新たな「名もなき家事」が増えたかの問い合わせに、63.9%が「増えた」と答え、男女別では、男性55.8%、女性72.0%と、コロナ禍で在宅時間が増えたことで男性も以前より家事を行っている意識はあっても、女性の方がよりコロナ禍によって新たな「名もなき家事」の増加を実感しているようですね。

家庭の新たな「名もなき家事」を抑制するためには、まず「自分のことは自分で行う」ことを実践してみるとことではないでしょうか。目の前の自分ができる「名もなき家事」を素直に受け入れることができようになれば家庭内の愚痴も少しは減るんではないかと思う今日この頃でした。